

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・景気が悪いと言われるなかでも、一服感がある。卒業、入学、春の気候でデザート類や飲み物が予想以上に売れている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	販売量の動き	・前年の3月に比べて5%ほど売上が増加している。観光客は減っているが、平日の地元客の歓送迎会が増えてきている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・携帯電話の需要期ではあるが、予測以上に販売量がある。
	変わらない	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・部門によってバラつきがあり、住居用品やチケット関連などでは好調に推移している部門もあるものの、主力である衣料品が浮上せず苦戦している。
		スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・一点単価が安くなってはいるが、買上点数が若干伸びている状況にあり、その為客単価としては前年と同様となっている。しかし、客数がマイナスのため売上もマイナスとなっている。
		コンビニエンスストア（経営者）	競争相手の様子	・新規の競合店の影響が固定化している。
		コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・目に見える在庫、即ち店内に陳列している商品がやや減っている店舗が見受けられる。雑貨等の売れにくい商品や、デザート等の販売期限の短い商品の調節により無駄な在庫を削減していると考えられる。資金繰り対策の一環の表れでもある。
		旅行代理店（代表取締役）	販売量の動き	・景気の悪化は以前に比べれば一段落した感があるが、前年の春に比べると販売量は減っている。消費者の財布のひもはまだ固い。
		通信会社（店長）	単価の動き	・新規契約数については、小中学校の卒業時期に合わせて前年と同様の水準であるが、低価格で販売している商品に購入が集中しており、前年後半からの不景気に変化は無い。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・プレイ料金を下げても景気が良くなる気配が無い。利用人数についても、県内ゴルフ業界でも5~10%、前年を下回る状況にある。
		住宅販売会社（商品開発担当）	お客様の様子	・敷金や礼金が無い物件を求め、初期費用を抑えようとする客が増えている。まだまだ不景気だと肌で感じる。
	やや悪く なっている	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・県内行楽客の減少が感じられる。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・入域観光客数の減少に伴い、レンタカーの利用客も減少しており、稼働率で前年比90%と厳しい状況が続いている。
悪く なっている	その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・売上が前年に比べて大幅に落ちている。売場の縮小や支店の撤退など、不採算部門の大幅な見直しを展開中である。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・新入学シーズンであり、この業界では例年ノートや筆記用具などの動きがあって一番の繁忙期であるが、前年にもまして動きが良くない。新学年向けの参考書や、ガイドの動きも芳しくない。また新学期用品の文具なども動きが良くない。	
	観光型ホテル（商品企画担当）	販売量の動き	・前年11月以降、客室稼働率は前年を割り始めたが、差は拡大してきている。11月は前年比で4.5%のマイナスだったが、今月は前年比で14%マイナスの見込みである。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前の12月の当施設の利用者数は、前年同月比で100.6%、今月は26日現在で同91.6%と大幅な落ち込みである。この下げ幅は前月に次いで大きい。この状況では3月の沖縄県への入域観光客数も前年同月比で大幅に落ち込んでいるものと推測される。来園者は一般団体、家族連れ等が中心である。	
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注単価が減少傾向にあるが、受注量が増えている。
	変わらない	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設業界の荷動きは当面堅調であるが、観光客数が激減し、観光客向け商品の販売数低下や本土向け個口輸送などの荷動きは減少傾向にある。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・県内一部の地域を中心に出ていた土木関連も一段落したが、建築基準法移行問題も解消されつつあり、学校関係の公共工事が中心に出ている。
		コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印刷物件の受注量が前年とほとんど変わっていない。
	やや悪くなっている	窯業土石業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規引き合い物件が減少している。
悪くなっている	会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・保険の解約や保険金額の減額による資金繰りを行うところが増えている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・2月は新規依頼が減った上、契約更新をしない派遣先が複数あり、売上・利益の減少幅は今年度で一番大きかった。しかし3月に入り依頼数が増えてきている。短期、長期含めて新規依頼も出てきている。
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数については、求人を取りやめる企業もあれば、この環境の中、良い学生を採用しようと積極的に求人活動している企業もあり、全体的には相殺されている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内大企業については、とりあえず来年3月までは採用を現状維持としている。一方、中小企業は現状を人材確保のチャンスと見て、前向きに採用を検討しているところもある。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	雇用形態の様子	・正社員雇用より、契約社員雇用が増えつつある。契約期間内で適正を見極め、良い人材であれば正社員登用へ移行する動きがある。契約期間を設けることによって、採用側はいつでも雇用調整ができるメリットがあるものの、将来を見据えた人材育成が以前より出来なくなっている。余剰人員を抱える企業基盤が更に弱まっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2月の新規求人数は前年比で19.5%、常用求人数は同22.2%減少している。また、新規求職者数は同6.5%、常用求職者数は同8.9%増加している。	